

令和4年度 第2回沼津市幼保小連携協議会 報告

1 日 時

令和4年10月11日(水) 14:30~16:15

2 場 所

沼津市役所水道部庁舎3階会議室

3 出席者

飛田 直和 (金岡小学校 校長) 内村 美恵子 (香貫小学校 教諭)
蓮池 千春 (金岡小学校 教諭) 関沢 美乃里 (第四小学校 教諭)
相原 恵 (大平幼稚園 主任教諭) 釜原 茜 (愛鷹幼稚園 主任教諭)
金崎 万里子 (大岡保育所 副所長) 田中 美佐枝 (永明保育園主任保育士)
宮ヶ丁 恵美 (しんあい保育園 主任保育士)
後藤 信俊 (幼保連携型認定こども園こずわ幼稚園 園長)
教育企画課、学校教育課、子育て支援課(事務局)
※欠席 眞野 裕輝 (原町幼稚園 教諭)
 杉浦 敬子 (幼保連携型認定こども園杉浦学園 副園長)

4 協議内容

沼津市の幼保小連携の現状及び今後の取組について
幼保小連携推進の新たな取組について

(事務局より)

これまでの幼保小連携の取組や各園、各校における現在の連携状況を踏まえ、ウィズコロナを見据えてどのように連携を推進していくとよいか。

新たな取組として、幼保小連携合同研修会を計画しているが、どのようなテーマで教育講演を実施するのがよいか。

(主な意見)

幼保小連携の取組の現状について

- (幼保) 園内ではクラスが交わらないよう合同保育や異年齢の直接交流は実施していないため、小学校との交流は今のところ実施していない。昨年度は小学校からプレゼントをもらったり、ビデオで学校紹介をしてもらったりしていた。今後の交流については未定である。
- (幼保) 以前は2つの小学校と交流しており、1年生だけでなく5年生とも交流していた。現在はできていないが、今後は進めていきたいと考えている。
- (幼保) 例年どおりの園児と小学生の業間遊びでの交流はできている。(幼児はマスクなし、小学生はマスクをしての活動)
- (幼保) 例年いっしょに行っているかけ足運動は、合同での実施の可否も含め、活動内容等を小学校と検討中である。
- (幼保) 今年度の交流は未定である。コロナ禍前は2学期後半に幼稚園から小学校へ、3学期は小学校から幼稚園へ行くという交流があった。交流では、小学生が学校紹介やできるようになったことの披露をし、関わるよい機会だった。例年、小学校から声を掛けてもらっていた。
- (幼保) コロナ禍前は「秋を見つけよう」で、小学生がおもちゃを見せてくれていたが、最近手紙での交流である。

- (幼保) 皆さんの話から、学校に希望すれば受け入れてもらえることが分かったので、連絡をとるようにしたい。
- (幼保) コロナ禍前は運動会を参観していたが、現在は人数制限もお互いにある中で難しい状況である。
- (幼保) 特別な配慮を必要とする子供への支援について、就学に向けて一層の連携が必要である。
- (幼保) 幼保小中の合同研修会を実施し、今年度は県幼児教育センターに協力を依頼して開催した。
- (幼保) 園の職員が1・2年生の生活科や3～6年生の社会や総合的な学習の時間、給食の時間の参観を行い、全職員が参観をする予定である。
- (小) 今年度、子供の小学校入学のモチベーションが上がるため、幼稚園から交流の声掛けがあった。生活科の「秋と遊ぼう」の中で、園児にプレゼントを送る活動を構想中である。
- (小) 以前は秋に1年生と園児でいっしょに遊び、学校案内をしていたが、現在は園児が列を組んで職員が学校見学を行う予定である。今年度から複数の園と連携を始める予定。
- (小) 近隣の園から学校見学の依頼があり、2年間は校舎を回るだけだったが、他にも何かやりたいと考え計画を始めた。1年生に昨年度の見学のことを尋ねると「もっといろいろ見たかった」との意見が出た。今年度は1年生が学校案内をし、タブレットを使う様子や校歌を歌う様子を見せたいと計画中。
- (小) 複数の園から学校見学の依頼があり、職員が学校案内を行う。待っている間に、タブレットを使用して学校紹介ができないか子供たちと模索中。
- (小) 以前は6月に幼保の先生が授業参観をして懇談会も実施していたが、現在はできていない。

次年度の新たな取組「沼津市幼保小連携合同研修会」について

- (幼保) 各園、各校で進めると、どのタイミングで連絡をとり、どんな内容でいつ取り組むのか連携することが難しい現状である。みんなで集まって勉強会をすることはよい取組である。

教育講演会のテーマ

- (幼保) 自己肯定感を高めるために、親にどうアプローチをするか。
- (幼保) 特別な配慮を必要とする子供への支援について
- (幼保) 幼保小連携の在り方や具体的な方法
- (小) 手遊びや読み聞かせ、幼保の先生の子供の惹きつけ方